

(19) プラホビー

1 活動の目的、効果

(1) 体験活動上の効果


◎自主性・創意工夫 ○課題克服・達成感

(2) ESDの課題解決に必要な7つの能力・態度

⑦ 進んで参加する態度

集団や社会における自分の発言や行動に責任をもち、自分の役割を理解するとともに、ものごとに主体的に参加しようとする態度

2 活動の詳細



概要 (セールスポイント)	透明なプラバンを使って、自分だけのキーホルダーを作ります。プラバンはオーブントースターで加熱すると、大きさが4分の1くらいまで縮み、厚さが増します。短い時間で思い出を作りたいときに、おすすめのプログラムです。				
諸条件	実施形態	自主活動		提出書類	食事・教材注文票（材料の注文）
	必要経費	特定研修活動実施経費（1人50円） +材料費（1人150円）		所要時間	1時間程度
	活動場所	研修室		対象・人数	園児以上 最大150人
	時期	通年	事前下見 不要	天候	全天候
準備するもの	青少年交流の家で貸し出し可能な物			団体で準備する物	
	・はさみ ・油性ペン ・穴あけパンチ ・オーブントースター ・板（押さえ用） ・イラスト（写し用） ・新聞紙 ・軍手 等			【参加者】	・筆記用具 等
役割分担	青少年交流の家が行うこと			団体の引率者が行うこと	
	1 道具の準備をし、引率者（担当者）への説明を行う（活動開始30分前までに） ① 貸出物品について ② 活動の進め方について ③ 安全管理について ④ 活動後の片づけについて 4 貸出物品を受け取る			1 交流の家職員から説明を受け、貸出物品を受け取る（活動開始30分前までに） 2 売店で材料を購入する 3 準備から片付けまでの指導を行う 4 貸出物品を返却する	

3 活動のふりかえりのポイント

視 点：「楽しんで、仲間と協力して活動することができたか。」

発問例：「出来上がった作品について、頑張ったこと、工夫したことなどを班で発表しましょう。班のメンバーは、友達の作品や、作業中の様子などの、自分が気づいた『ナイスポイント!』を伝えましょう。」

4 SDGsで目指す姿

		12.8 2030年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようになる。
		自分で作った作品に愛着を持ち、大切に長く使うようになることをとおして、身の回りにあるものも同じように大切に使う姿。

道具・用具



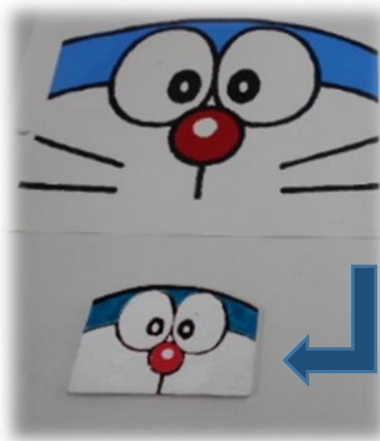
- はさみ
- 穴あけパンチ
- 軍手
- オーブントースター
- イラスト(下絵用)
- 油性ペン
- 板 (押さえ用)
- ピンセット
- ペンチ
- セロハンテープ

作品例



- すきな色のペン (マジック) で、好きな絵や言葉を書きましょう。
- 長めのひもを通せば、ネックレスにもできます。
- **完成品は、もとのフラパンの大きさの4分の1になります。**

① プラパンに^え絵をかく。



日にちや名前を入れると
思い出になりますよ。

② ^え絵の^{まわ}りを^す好きな^{かたち}形にカットする。



【^{したが}下書きのポイント】

- ^え絵は自由。^{じゆう}文字でもOKです。
※イラストを^{した}下に敷いて^し写してもいいです。
※^{したえ}下絵を使うときはクリップで^{こてい}固定しましょう。
- できるだけ^{おお}大きく^{ふと}太く。
※^{かんせいひん}完成品は、4分の1くらいの^{ちぢ}大きさに縮みます。
- **上の方に^{あな}穴をあけるスペースを^{のこ}残しておきましょう。(キーホルダーを^{とお}通します)**

【^{カット}時のポイント】

- ^{かんせいひん}完成品は4分の1の^{おお}大きさに^{おお}なります。
できるだけ^{おお}大きく^{きく}カットしましょう。
- ^{かど}角はとがらせず、^{まるく}丸くきります。
- **キーホルダーを^{とお}通す^{あな}穴のスペースを^{のこ}残しておくことを^{わす}忘れないように^しましょう。**

③ キーホルダー用の穴を^{よう} ^{あな} ^{おおきめ}大きめに^{あける}あける。



【穴あけのポイント】

- 焼いた後は固くなるので、^{あな}穴をあけることはできません。
- 穴の位置が、^{はし}端すぎるぎると、^わ割れやすくなりますが、^{おくす}奥過ぎると、キーホルダーの^{かなぐ}金具が^{とど}届かなくなることがあります。

④ オーブントースターで^や焼く。



オーブントースターにはさわらない

【焼くときのポイント】

- 焼くときは^{せんせい}先生に^{ねが}お願いしましょう。
- **とってもあついで**
^{せんせい}先生は^{かなら}必ず^{ぐんて}軍手をつけてください。
- **ぐにゃ〜となってもあせらずに！**
^{たい}平らになったら（^{うご}動きが^と止まったら）
^と取り^だ出します。

⑤ と だ いた うえ お
取り出して、板にはさんで上から押さえる。



と だ
【取り出すときのポイント】

- **とってもあついで、
ぐんて 軍手をして取り出しましょう。**
- **と だ せんせい
取り出すときも先生に
ねが お願いしましょう。**
- お 押しさえるときは両手で
りょうて
グッと体 重 をかけて押します。
たいじゅう

⑥ キーホルダーをつける。



と っ
【取り付けるときのポイント】

- ペンチを使って取り付けます。
- **せんせい
ペンチは先生がつかいます。**
- できるだけきつくとめてください。

⑦ かたづけ・そうじ

※ **きたとき よりも美しく。**